

みずほCustomer Desk Report 2023/02/22号 (As of 2023/02/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	134.32
TKY 9:00AM	134.34	1.0682	143.51	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	135.23	1.0698	144.15	1.2027	0.6907
SYD-NY Low	134.15	1.0638	143.21	1.2147	0.6918
NY 5:00 PM	135.02	1.0647	143.70	1.1990	0.6847
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,129.59	▲ 697.10	日本2年債	▲0.0300%	0.0100%
NASDAQ	11,492.30	▲ 294.97	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,997.34	▲ 81.75	米国2年債	4.7280%	0.1132%
日経平均	27,473.10	▲ 58.84	米国5年債	4.1736%	0.1472%
TOPIX	1,997.46	▲ 2.25	米国10年債	3.9526%	0.1368%
ソコ日経先物	27,260.00	▲ 250.00	独10年債	2.5330%	0.0740%
ロンドンFT	7,977.75	▲ 36.56	英10年債	3.6070%	0.1380%
DAX	15,397.62	▲ 79.93	豪10年債	3.8380%	0.0280%
ハンセン指数	20,529.49	▲ 357.47	USDJPY 1M Vol	12.47%	▲0.69%
上海総合	3,306.52	16.19	USDJPY 3M Vol	12.23%	▲0.20%
NY金	1,842.50	▲ 7.70	USDJPY 6M Vol	11.51%	▲0.08%
WTI	76.36	▲ 0.19	USDJPY 1M 25RR	▲1.04%	Yen Call Over
CRB指数	268.48	0.91	EURJPY 3M Vol	11.43%	▲0.21%
ドルインデックス	104.18	0.32	EURJPY 6M Vol	11.14%	▲0.09%

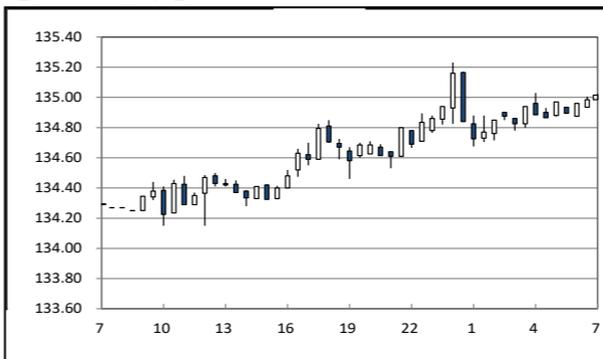
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月21日	18:00	欧 S&P Global 製造業 PMI	2月 48.5	49.3
	18:00	欧 S&P Global コンポジット PMI	2月 52.3	50.7
	18:00	欧 S&P Global サービス PMI	2月 53.0	51.0
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	2月 -45.1/28.1	-50.5/23.0
	22:30	加 小売売上高(前月比)	12月 0.5%	0.5%
	22:30	加 CPI(前月比/前年比)	1月 0.5%/5.9%	0.7%/6.1%
	23:45	米 S&P Global 製造業 PMI	2月 47.8	47.2
	23:45	米 S&P Global コンポジット PMI	2月 50.2	47.5
	23:45	米 S&P Global サービス PMI	2月 50.5	47.3
2月22日	00:00	米 中古住宅販売件数	1月 4.00m	4.10m

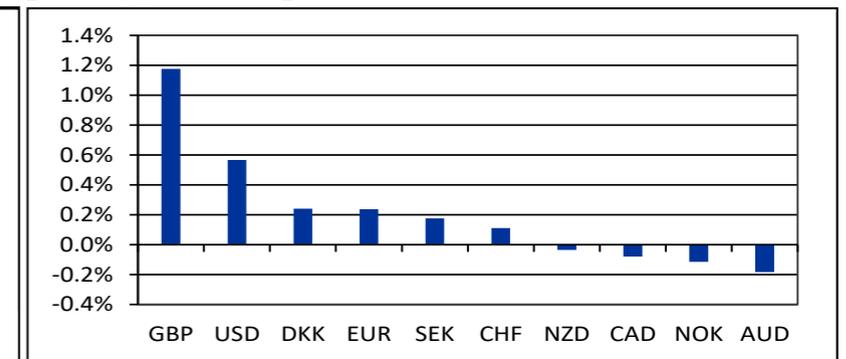
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月22日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 1.0%/8.7%	1.0%/8.7%
	18:00	独 IFO企業景況感指数	2月 91.2	90.2
	18:00	独 IFO(現況/期待)指数	2月 95.0/88.4	94.1/86.4
2月23日	04:00	米 FOMC議事録	2月1日 -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-135.50	1.0610-1.0710	143.20-144.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇する展開。米2月購買担当者景気指数(PMI)が総合で50.2と好不況の境目である50を8カ月ぶりに上回り、米金利の上昇とともにドル円は一時約2か月ぶりとなる135.23を付けた。135.02レベルでクローズ。今月に入って米国の小売りや雇用関連などで堅調な内容の経済指標が相次いでおり、好調な米経済とインフレ圧力を背景とした利上げ継続観測で、ドル円は底堅い展開を予想する。本日は米FOMC議事要旨(1月31日-2月1日開催分)の公表が予定されている。パウエルFRB議長が記者会見でディスインフレに言及した一方、足元ではFED高官から利上げに対してタカ派なコメントが目立っており、どのような議論があったのか内容に注目したい。

東京	東京時間のドル円は134.34レベルでオープン。仲値にかけて実需フローが入り一時134.15まで下落するもすぐに値を戻す。その後も米国休日明けで新規材料に乏しいなか134.30~40近辺での小動きが続き、134.40レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は134.40レベルでオープン。朝方に英2月PMI総合指数が予想に反し好悪の基準50を上回りポイントが上昇。クロス円の上昇を背景にドル円も堅調推移し134.71レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。東京時間は手掛かり材料に乏しく、134円台前半を中心としたレンジで推移するが、ロンドン時間では米金利やクロス円の上昇にサポートされ、134円台後半まで水準を切り上げた。早朝に一時134.85をつけ、134.71レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ、朝方は135円手前まで上昇し、その後発表された米2月PMIが予想を上回ったことから買いが加速し、一時135.23まで上昇。しかし、米10年債利回りが4%手前で伸び悩んだほか、対欧州通貨のドル売りがドル円にも波及した結果、135円台は維持できず、134.68まで反落。午後は米金利上昇の再開を受けてドル買いが強まり、135円ちょうど付近まで上昇。終盤は小動きとなり、135.02レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。フランス、ドイツ、ユーロ圏の2月PMIが発表前後には売り買い交錯する場面もあったが、強弱まちまちな結果だったためか、方向感の出にくい展開が続き1.0662レベルでNYオープン。朝方は米2月PMIの結果にドル買いで反応したことから1.0638まで下落。その後、特段のヘッドラインは見当たらなかったが、ロンドンフィクシングにかけてユーロの買い戻しが強まり、高値1.0698まで反発。しかし、米株安を嫌気したユーロ円の売りが重しとなる中、その後は1.0650近辺まで反落。午後は方向感なく推移し、結局、1.0647レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・大橋